

報道関係各位

2024年12月9日

神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチーム

神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働で、「水平リサイクル」を目指す
「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」
3年間で約5トンの「使用済みつめかえパック」を回収

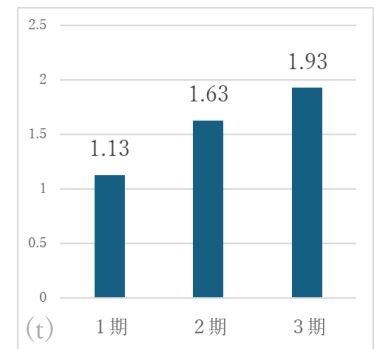
神戸市と小売・日用品メーカー・リサイクラーでつくる神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチームは、神戸市内の小売店舗に回収ボックスを設置して日用品のつめかえパックを分別回収する「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」を実施しています。

この度、第3期（2023年10月から2024年9月末まで）で1.93トン、3年間で累積5トンのつめかえパックを回収いたしましたので、活動実績と併せてご報告します。

■第3期のつめかえパック回収量は約1.93トン。つめかえパックを傘・回収ボックスにリサイクル。

2021年10月からスタートした本プロジェクトは、神戸市と17社・団体が循環型社会の実現に向けて協働し、日用品の使用済みつめかえパックを分別回収して再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」（フィルム to フィルム）を目指しています。自治体と製造・販売・回収・再生に関わる複数の企業等が“競合”の垣根を超えて“協働”で「水平リサイクル」を目指す全国に先駆けた試みで、神戸市内の小売76店舗と施設19カ所に回収ボックスを設置しています。

3期で回収したつめかえパックは重量1.93トンで、前年比から約1.2倍となりました。またフィルム to フィルムの技術を活用し、回収したつめかえパックの一部から、傘や回収ボックス制作、店頭イベントや環境イベントでの啓発活動を行いました。



■3年間で約5トン回収。水平リサイクル実現には、つめかえパックの安定供給と選別コスト低減が課題。

3年間で累計約5トン回収し、回収量は年々増加しています。しかし水平リサイクル品が当たり前になるためには、使用済みつめかえパックが安定的に回収できる状態を作ることが必要です。そのために、5トン/年をマイルストーンに置きながら回収量が集まる仕組み作りを進め、市民の皆様への参加協力も呼び掛けていきます。

《認知や参加を拡大する仕組みづくり》

既存店頭回収（ペットボトルなど）に追加する形で、つめかえパック回収が市民に受容されていることが実証されてきました。しかしペットボトルや食品トレーなどに比べ、まだまだ認知が低いことが示唆されており、認知・参加を促していく仕組み作りとその検証を行い、5トン/年回収ベースの安定供給の実現を目指します。

《店頭回収・収集運搬・選別の仕組みづくり》

店頭回収・収集運搬・選別の基本モデルが構築できました。一方で回収物の選別の効率化やコストが大きく負荷の低減が課題です。3期では家庭内での分別をアシストする選別システムの開発・テストを進めており、資源循環型社会にむけ、将来必要になる要素技術を神戸市から発信するべく継続して取り組んでゆきます。

《再生品の需要を高めていく》

参加社が競合関係や異業界の壁を越えて、水平リサイクルに関する技術や課題を共有・議論し理解を深めていきましたが、今後は、つめかえパック由来の再生樹脂を活用したりリサイクル品の需要を高めていく必要があり、水平リサイクルに対する市民の関心等を把握していきます。

【報道関係のお問い合わせ先】

神戸市環境局 井関・川上 Tel: 078-595-6091 (内線 955-3531)
 神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル広報事務局 (プランニング・ポート内) 福嶋・井上 Tel: 06-4391-7156
 KOBE PLASTIC NEXT ホームページ <https://kobeplasticnext.jp/>

第3期の主な活動実績（2023年10月～2024年9月）

1) 神戸市内での店頭イベントの開催へ、各種環境イベントでの啓発活動

生活者の分別回収の理解を深めて、年間5トンペースのつめかえパックが集まる仕組みづくりのため、PRイベントやブース出展など、認知拡大、参加促進活動を行いました。

- ・六甲アイランドハロウィンフェスティバル2023（2023年10月28日（土）29日（日）/神戸ファッションプラザ）
- ・こうべ環境博覧会「かんぱく」（2023年10月29日（日）/兵庫津ミュージアム）
- ・神戸プラスチックネクスト in コープこうべ（2024年2月17日（土）/コアキタマチショッピングセンター）
- ・「楽しんで学ぼう SDGs in KOBE」（2024年3月26日（日）/ふたば学舎）
- ・つめかえパックリサイクルキャンペーン（2024年5月26日（日）/マックスバリュ星陵台店）

2) 神戸市内で回収したつめかえパックから「リサイクル傘」「回収ボックス」が完成。

参加メーカー各社が連携し「水平リサイクル」に向けた検討や意見交換を重ねていますが、フィルム to フィルムの技術を活用して、回収したつめかえパックの一部から「水平リサイクル」以外の利活用も検討し、集まったつめかえパックを選別・粉碎・ペレット化、フィルムに再生、「リサイクル傘」「回収ボックス」を制作しました。

・「リサイクル傘」（傘シェアリングサービス「アイカサ」で運用）

神戸で回収したつめかえパックから再生樹脂を50%使用したフィルムに再生、傘の生地を制作しました。生地のデザインでは、リサイクルしたつめかえパックが傘になり人に戻ってくることを、ボタンをつないで傘を一周することで表現しました。

完成した300本の傘は、2024年12月10日より順次、神戸市内・約20カ所の「アイカサ」スポットで運用予定です。

・「回収ボックス」

回収ボックス1台あたり約3.7kgのうち10%に、つめかえパック由来の再生樹脂を利用し100台製造。2024年12月より、参加小売店舗で順次設置していきます。



※この取組は、アマタホールディングス(株)が2023年8月に採択された内閣府の第3期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の支援のもと実施しました。

3) 家庭内での分別をアシストする選別システムを開発

現在、リサイクルしやすいつめかえパックを目指して様々な包装開発が各方面で進められています。しかしながら、こうしたつめかえパックでもその技術を採用したつめかえパックだけを分けて集める必要があります。

そこで、こうした分別を家庭でも手軽に行えるよう、スマートフォンを活用して、つめかえパックに印刷されたバーコードを読み取ることで、排出方法をアドバイスする選別システムを開発しています。今後、神戸市内で行ういくつかのイベントで体験会を行い、運用の可能性を確認して参ります。また、将来的にはバーコードと排出・再生方法を記述したリサイクル統合データベースを整備し、大規模ソーティングにも活用できることを目指しています。



